いちご新聞

～山元町震災復興 土曜日の会だより～

【第41号】 2016年1月27日

発行：山元町震災復興 土曜日の会
住所：宮城県亘理郡山元町 山寺字浜163

▼お問い合わせ
いちご新聞編集事務局：
０９０－６２２７－４１２４
Eメール
yamamoto.fukkou@gmail.com

～土曜日の会とは？～
山元町の復興を
考える住民の会です

2016 申年

山元町震災復興土曜日の会
新年のご挨拶

会長　菊地 正己

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃は土曜日の会の活動に対し、ご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。東日本大震災から5年を経過して、町の中央には常磐線の高架が横断し、今年末まで には浜吉田から相馬への電車が走ることが見込まれています。高架橋のふもとに真新しい住宅が立ち並んでいる様子を見ると復興の進んでいるのが実感できると思います。一方では仮設住宅で5度目の正月を迎えた方々や、新しい生活の方向も定まっていない方も多いのではないでしょうか。また震災危険区域と言われる浸水被害の大きかった地域では、いまだに荒地に雑草がそのままで、新市街地といわれる地域との格差に愕然としますす。昨年実施しましたアンケートでも現地再建の住民の思いは、復興行政からの疎外を感じている方が相当の割合を占めております。新市街地は3地区併せて約9000世帯の方々が希望を持って新しい生活を開始しています。浜通り被災地で現地再建を目指している方も600世帯をこえています。皆が復興を実感し、気持ちが一つになるようにこれからも活動して参りますので、土曜日の会へのご理解とご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

訂正

いちご新聞40号（2015年12月15日発行）掲載の「山元町議会議員選挙公約まとめ」について内容に誤りがありました。紙面にて訂正しお詫びを申し上げます。

【誤り】
菊地康彦議員　無所属　66歳　下郷区

【訂正】
菊地康彦議員　無所属　56歳　山寺区

真庭地区

『山元はじまるしぇ』大盛況
様々な山元の「味」が一同に

昨年12月27日真庭区民会館で「山元はじまるしぇ」が開催された。祭りは同区民会館（明治末期に建てられ小学校分校だった木造校舎）と校庭跡のグランドが会場となった。当日は34の店やブースが出店、特産のイチゴやリンゴ、イチジクの加工品、野菜、焼き菓子などの地場産品が売り切れるほどの盛況ぶりで、町内外から1500人もの人出で賑わった。真庭地区は平成27年現在186世帯583人の小規模の地区なが ら、若者で構成する実行委員会の企画に協力して祭りを盛り上げた。校舎の一室では坂元小学校の生徒制作の「坂元カルタ」を使った遊びが人気で、親子連れで楽しむ姿も見られた。

実際に乗車できるミニ蒸気機関車も走った

カフェ・プチットジョアの地元産いちじくのケーキ

坂元の歴史を学べるカルタ

花釜地区

みんなのとしょかんにボルダリングを楽しめるスペースがOPEN！

ボルダリングとはロープ等を使用せずに岩や壁を体一つで登るスポーツで、首都圏で人気が出てきている。昨年12月10日に曹洞宗神奈川青年会、同静岡青年会のみなさんがみんなのとしょかん敷地内に作成設置したところ、連日地域の子どもたちが集まり楽しんでいる。同敷地内には丸太で作った遊具もあり、これも同じく曹洞宗青年会によって一昨年作られており、子どもたちに人気だ。みんなのとしょかんは本の貸し出しだけでなく、小さいながらも公園や地域の憩いの場として住民に親しまれている。

元気な子ども達の遊び場となっています

2015～2016 山元町の年越し

花釜海岸

↑毎年恒例となった「初日の出を見る会」

花釜海岸

↑今年はおしるこが振る舞われた

花釜海岸にて「初日の出を見る会」

磯浜漁港

←磯浜漁港には船が増えた。少しずつ進む、確かな復興を感じられる場所。

牛橋区民会館

↑牛橋区民会館では「歳末もちつき大会」が行われ、つきたての餅やカラオケで大いに盛り上がった。

中浜小学校前

→津波に耐えた樹齢４００年のケヤキもついに寿命を向かえ、黄色いハンカチは「やまもと絆の光」として新たに建てられるポールに再掲揚されることに。

青巣稲荷神社

←花釜の青巣稲荷神社で行われた、どんと祭の様子。

←地元のコーラスサークル「どらごえサークル」と「笑顔広がれプロジェクト」による合同コンサートの様子

↑年末年始も大忙しの山元町ゆるキャラ「ホッキーくん」

↓「コダナリエ」は25万個のＬＥＤが点灯　婚活イベントとのコラボも話題になった

小平農村公園